

基礎演習 I、II

【ねらい】

大学生としての学びと生活を円滑に始めるために必要な知識やスキルを身に着ける。また、経営を学ぶ者として、その学びの対象の特性について理解し、それに立脚した授業群の体系や意図について理解する。さらに、将来社会で活躍するために、社会人としてのスキル、マナーなども身に着ける

【特色】

基礎演習 I は、1 クラス 10 名程度の少人数で教員の指導をうけることができる。基礎演習 II ではロジカルな考え方を学ぶ。

【内容】

基礎演習 I では、「読む」「書く」「発表する」という大学生の知的作業について、概要を学ぶ。基礎演習 II では、社会人としての文章表現、マナー、プレゼンテーションなどを学ぶ。

経営学基礎 I

【ねらい】

営利企業はもちろん、官公庁、自治体、教育機関、あるいはボランティア組織においても、社会的活動を継続的に進めていくためには、組織の運営が必要であり、そこに「経営」という視点は不可欠である。経営とは何か、どのように組織や社会に役立てられているかを広く理解することと目的とする。

【特色】

経営学の基礎的な項目を広く学ぶとともに、具体的な企業事例を豊富に提供する。

【内容】

経営理念、企業文化、株式会社、経営戦略、組織構造、マーケティング、技術革新、ベンチャー企業、企業家等経営学の概念や用語を広く学ぶ。

マーケティング基礎

【ねらい】

マーケティングの基本的な概念や、実践に関わる理論・方法論を体系的に習得し、「売り」の仕組みの構築に際して目配りし考えるべきことを学び取る。

【特色】

マーケティング計画の流れとポイントを理論と実例を織り交ぜて解説することで、実践知としての定着を促す。

【内容】

マーケティングの発想の中核を成す「顧客にとっての価値」を考察対象の中心に据え、最終的に購買行動ひいては満足・継続・推奨等につなげるために、それをどのように効率的・効果的に理解・共感してもらうかについて、各回テーマを設定して考え方や方法論を議論していく。

会計学基礎

【ねらい】

損益計算書、貸借対照表など財務諸表の基本的な構造、見方、作成ルールなどを理解する。

【特色】

事例やエピソードを交えて、「財務諸表とは何か」、「会計ルールとは何か」などをわかりやすく説明する。

【内容】

複式簿記、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書、企業会計基準、原価計算、公認会計監査等の項目について基本的なことを学ぶ。

エンターテインメント・ビジネス基礎

【ねらい】

エンターテインメント・ビジネスの根幹をなすコンテンツ・ビジネスについて理解し、その特徴を捉え、さらに、経営学の理論や方法を活用できるようになる。

【特色】

グローバル企業にて、エレクトロニクスとエンターテインメント・ビジネスに10年以上携わった実務経験を持つ教員が、事例分析を交えながら、経営に必要な知識をわかりやすく伝える。

【内容】

エンターテインメントをビジネスとして捉えると、どう見えるか、業界全体の俯瞰、エンターテインメント・ビジネスの根幹を成すコンテンツ・ビジネスの構造の理解、権利ビジネス等を中心に学ぶ。また、映画業界、音楽業界、テレビ業界の具体的企業のケーススタディも行う。

トラベル・ホスピタリティ基礎

【ねらい】

トラベル・ホスピタリティに関する基礎的知識を習得するとともに、ビジネスの視点からトラベル・ホスピタリティを考えることができるようになる。

【特色】

観光政策に係る実務経験をふまえての事例紹介があり、トラベル・ホスピタリティ・ビジネスについての具体的イメージをもつことができる。

【内容】

観光ビジネスの種類・特徴、旅行業、世界遺産、宿泊業、交通、観光資源、サステイナブル・ツーリズムなど、トラベル・ホスピタリティ分野の様々な面を広く学ぶ。

ファッション・ビジネスⅠ

【ねらい】

ファッション業界にはさまざまな職種があり、そのどの職種に就くにせよ、知っておくべきファッションの常識、知識が必要とされる。本講座では、ファッションの世界を俯瞰して、歴史から、現在、未来に向けてのファッション業界の動向を、広くもれなく学ぶ。ファッションが社会や人に与える影響の大きさを知ること、ファッションのよりよい状況を求める視野を開くことができる。

【特色】

知識を得るだけでなく、グループディスカッション、ワークショップ形式を通して、実際に発言を求められ、クリエイティブな作業を体験できる。

【内容】

ファッションの歴史、エシカル（倫理的）・ファッション、ファッション・メディア、デザイナー論、ラグジュアリーブランド論、ファストブランド論など。

ネットワーク基礎

【ねらい】

インターネットの仕組みを理解した上で簡単な Web サイトを構築できることを目標とする。

【特色】

コンピューターを使った実習により、実践的な力を身につけることができる。

【内容】

- (1) ユーザの立場から最小限知っておくべきネットワークの仕組み、通信の仕組みを習得する。
- (2) 受講者が自分のウェブページを作成し、学内サーバ上で公開することにより、ネットワークに向けて情報発信する。

企業論

【ねらい】

現代の企業を取り巻く経営環境の変化や経営上の諸課題を理論と実証の両面から分析・考察し、受講生が「望ましい企業経営のあり方」について自身の意見や考え方を持てるようになることを目的とする。

【特色】

企業に関する基本的な理論・概念について解説するだけでなく、新聞記事や映像資料なども活用して実例を数多く取り入れながら、現代の「企業像」を受講生が具体的にイメージしやすいよう平易に学んでいく。

【内容】

企業について多角的な視点から考察する。「所有と経営の分離」やコーポレートガバナンス改革などに触れつつ、近年、重要な経営課題になっているCSRやSDGs経営、さらには社会的企業なども取り上げる。

流通経営論

【ねらい】

流通業界では新しい業態が次々と登場し、急速に変化を遂げている。流通業界に関する基礎知識の習得に努めるとともに、今後の流通業界、流通企業の成長に求められる基本的な考え方を学ぶ。

【特色】

流通業界の業態や企業に関し、学生自らがリサーチし、現状や将来展望に関する考えを整理する作業を取り入れる。

【内容】

流通業界の基本的な構造を学習するとともに、特色ある企業・業態に関する最新の事例を取り上げ、社会的背景や消費者ニーズの変化にも言及する。

広報・広告論

【ねらい】

マーケティング計画の中での、広告と広報に代表される「コミュニケーション」の位置づけとその重要性、実務面での取り組み方などを習得する。

【特色】

マーケティングにおける広告と広報それぞれの固有の機能、とりわけ両者の共通点と相違点を強調することを通して、コミュニケーションの果たす役割と効力についての理解を促す。

【内容】

まずマーケティング計画の流れに沿ってコミュニケーション、および広告・広報の位置づけを論じる。次に、広告・広報それぞれの計画の流れや要諦を、理論面と実践面の双方の学びが得られるように留意しつつ、様々な身近な実例を参照しながら議論する。

経営管理と会計

【ねらい】

経営管理と会計の関係を考察し、企業などの組織体の経営意思決定および業績管理といった一連の経営活動における会計情報の役割を考察し、管理会計領域の基本的な理解を得ることを目的とする。

【特色】

問題の発見と解決、戦略の策定と遂行、業績評価などのテーマに沿って原価計算・管理会計技法を解説するとともに、最新のトピックスを紹介して管理会計の役割を理解させる。

【内容】

管理会計の意義と目的、経営管理とコスト情報、製品原価の計算、予算管理と責任会計、利益計画と会計情報、意思決定と会計情報など。